



梅だより

Shokei Gakuin University Library Mail No.51

✂️ 新学期がスタートしてひと月以上が経ちました。新入生の皆さんは、そろそろ大学生活に慣れてきましたか？落ち着いてきたら、ぜひ図書館にも足を運んでみてくださいね。授業や課題で必要な本を探すのはもちろんのこと、ふらりと立ち寄ったときに、素敵な本に出合えるかもしれません。ぜひ、大学生活のあいだにたくさんの本を読んでください！

📖 図書館って、何だべ？ —「図書館」について考えてみよう—

尚絅学院大学図書館長 高橋 真

この広報誌『梅だより』は、尚絅学院大学図書館の広報紙である。そこで、あらためて図書館について考えてみよう。

「図書館」を『広辞苑』でひいてみると次のように記してある。

「(library) (明治中期の訳語。それまでズショカンといった)図書・記録その他の資料を収集・整理・保管し、必要とする人の利用に供する施設。旧訳、書籍館(しょじやくかん)。」と。

さて、図書館にあるものは、当然ながら本や雑誌やDVD等であり、それらを利用者に貸し出している。

ところが、貸本業(本のレンタル業)とは違う。貸本業の場合は貸し借りに際に貸借料(レント)が発生するが、図書館の場合には、貸借料(レント)は生じない。なぜなら、図書館の目的は、本の貸し借りによる利益の追求ではないからと考えられる。

さて、毎年、この時期に話題になる本の一つに「本屋大賞」がある。ご存じのように「本屋大賞」は書店のスタッフによって一押しの作品が選ばれるものであるから、多くの読者の支持を得る可能性が高いものである。事実、「本屋大賞」を受賞した本は、多くの書店でかなりの部数が山積みになっている。

2014年の「本屋大賞」は和田竜『村上海賊の娘』であり、その前年(2013年)の「本屋大賞」は百田尚樹『海賊とよばれた男』であった。さらに、その前年(2012年)は三浦しをん『舟を編む』であった。

さて、この3冊を図書館の蔵書検索から探してみると、面白いことがわかってくる。たとえば、公共図書館の一つ宮城県図書館のホームページから蔵書検索をしてみると、きちんとこの3冊は所蔵されている。

ところが、尚絅学院大学図書館には、「なんと!3冊ともない!」のである。これは、尚絅学院大学図書館の「怠慢なのか!?」。

ちなみに、尚絅学院大学図書館には「本屋大賞」を受賞した作品のうち、近いものでは伊坂幸太郎『ゴールデンランパー』は所蔵されている。もちろん、この本は宮城県図書館にも所蔵されている。尚絅学院大学図書館の場合、この本の所蔵は「本屋大賞」の受賞というよりも、著者が宮城県在住であることがその所蔵理由と考えられる。

さて、尚絅学院大学図書館には、なぜ「本屋大賞」受賞の本が所蔵されていないのか。

この問いに対するひとつの答えは、公共図書館と大学図書館の性格の違いである。公立図書館は、広く多くの市民に図書に親しんでもらうことをひとつの目的としている。したがって、当然ながら様々な分野の図書を所蔵しておく必要がある。逆にいえば、特定の分野の絞り込みは避けなければならない。

これに対して、大学図書館の目的は、大学生や大学院生や教員の学業と研究の向上に寄与することにある。その意味では、様々な分野を広範囲に、というよりも大学の学業や研究に貢献する特定の専門分野に特化することがその図書の収集・所蔵には求められる。

ここで、私の専門分野の経済学に限って図書の所蔵を検索してみよう。

たとえば、有名な「経済学の祖」と言われるアダム・スミスの『国富論』(訳書・上下巻他)は、宮城県図書館と尚絅学院大学図書館の両方に所蔵されているが、最も新しい訳書の山岡洋一訳(日本経済新聞出版社、上下巻)は宮城県図書館には所蔵されていない。また、公共選択論の分野では定番となっているデニス・ミュラー『ハンドブック公共選択の展望』(訳書・全3巻)についてみると、第1巻だけは宮城県図書館に所蔵はあるが、第2巻と第3巻の所蔵はない。さらに、オリバー・ウィリアムソン『市場と企業組織』(訳書)やダグラス・ノース『経済史の構造と変化』(訳書)は宮城県図書館に所蔵されていない。もちろん、これらの図書は尚絅学院大学図書館にはすべて所蔵されている。

このように、図書館と言っても、その目的や性格や貸し出し対象者の違いなどによって、図書や雑誌やDVD等の所蔵内容が変わってくるのである。

それぞれの図書館を訪問して、所蔵図書や雑誌等を見て、図書館の違いを観察してくるのも、図書館の楽しみ方の一つと言えそうである。

図書館道案内

図書分類法のはなし…図書館の本の並び順って？

図書館に来て本棚を見たとき、これは何の順番に並んでいるのか？と、思ったことはありませんか。書店やレンタルショップであれば本やCDのタイトル五十音順、出版社の五十音順、あるいは著者、アーティスト五十音順…では、図書館は何を基準にしているのでしょうか？



ほとんどの図書館では、**日本十進分類法**という分類法を使って本を並べています。図書館の本は出版社や著者ではなく、**本の内容**に重点を置いて分類されているのです。

日本十進分類法

図書の各分野を **0 から 9 までの数字**によって分類する方法。「日本」と付くのは分類が日本独自のものであって、海外では数字によって分けられる分野が異なるため。

0	総記	以下の分野のいずれにも属さないもの、あるいは複数の分野にまたがって属するものがまとめられています。
1	哲学	各国の哲学書および心理学や宗教、思想や倫理もこの分野に属します。
2	歴史	伝記や地誌・地理学も含まれます。 紀行 についての書籍もこの分野です。 (※当館では一部「文学」にも紀行書を置いています)
3	社会科学	政治・法律・経済・財政等々、社会に関する幅広いテーマが属します。 教育学 に民俗学、国防・軍事といった分野も含まれています。
4	自然科学	数学・物理学・化学・天文学・地球科学から動物学・植物学・医学などもここに属します。
5	技術	建築・機械・電機・海洋・化学・製造等の工学書のほか、 家政学 や 生活科学 を含みます。
6	産業	農業・園芸・畜産業・林業・商業・不動産業といった各業種のほか、広告・投機・貿易なども属します。
7	芸術	図画集・絵画・漫画・イラスト・技法といったものから 音楽 ・ 演劇 など、芸術に関する幅広いテーマが属します。
8	言語	翻訳法・解釈法・会話法・国語辞典ほか、 敬語 や 話し方 、文例集など、意外と役立つテーマが属しています。
9	文学	詩・戯曲・ 小説 ・ 童話 ・俳句などのほか、論文集・評論集も含まれ、民謡や落語もここに属します。海外文学もこちらです。

ひとつの数字はさらに 10 の分野に分けられていて、そのうちのひとつをさらに 10 に分けて…と、十進分類法はまるで家系図のように細分化されています。例えば、当館所蔵の伊坂幸太郎著「**死神の精度**」には「**913.6**」という数字が付いていますが、これは「**9:文学**」のなかの「**1:各言語の文学**」のなかの「**3.6:近代、明治以後のもの**」に属する、ということを表しています。最初はわかり辛いですが、意味がわかるととても便利です。背表紙についているラベルの数字は、それぞれの本に割り当てられた住所のようなものなのです。



石井淳蔵著「マーケティングを学ぶ」ちくま新書(2010年)

学生の諸君に薦めたい本として真っ先に浮かんだのは、石井淳蔵の『マーケティングを学ぶ』(ちくま新書)です。なぜ、伊藤園の「お〜いお茶」が緑茶市場で一番売れているのか。なぜ、携帯電話市場で後発者にもかかわらず、アップル社の iPhone が多くのユーザーの心をつかんだのか。学生の皆さんも含めて、多くの人が疑問に思っているでしょう。この本では、豊富な事例を挙げながら、マーケティング戦略を解説しています。

日本の企業は優れた技術を有していながら、概して収益性が低く、それが「失われた20年」の要因になったとも言われています。激動する現代社会において、日本の企業はいかにして生き残ればよいのか、この本がその戦略的方向性を示してくれます。表紙に書かれている通り、現代の企業の使命は「技術を通じて優秀な製品を作り出すことでも、低コストの製品を作り出すことでもない。……生活者のより良き生活に向けてのものでしかない」です。

→ ご紹介頂いた本は図書館に所蔵されています…請求記号 675||Mi

現代社会学科 張濤先生

梅子の部屋

ごきげんよう。梅子と申します。皆様、夏目漱石はご存知？日本にいれば、嫌でも何かしらの本は読まれたんじゃないかしら。たぶん、苦手な人も多いはずね。私も、最初の一行「香鬘は猫である。名前はまだない。」を読んだだけで、はいそうですか、って本を閉じちゃったもの。でもね、決して漱石が嫌いなわけじゃないのよ。この人、結構いろんな小説を書いているの。例えば、「夢十夜」とか…

“こんな夢を見た。

腕組みをして枕元に座って居ると、仰向(あおむけ)に寝た女が、静かな声でもう死にますと言う。……

(中略)「百年待っていて下サリ」と思ひ切った声で言った。

「百年、私の墓の傍に座って待っていて下サリ。

屹度(まっつ)逢いに来ますから」……”

なんてね。さっきの猫の小説とは、全然テイストが違うでしょう？

先生、意外と怖い話もいけるのね。むしろ、こっちが本質なのかしら。

漱石の「夢十夜」が収録された本は、この図書館に何冊もあるらしいわよ。

→ 岩波書店「漱石全集 第十二巻」・筑摩書房「夏目漱石集(一)」ほか



☺ 図書館のスタッフが新しくなりました！

今年度から図書館スタッフが変わりました。それに伴い、梅だよりの誌面も全面リニューアルいたしました。まだ不慣れな部分もありますが、精一杯、皆様の利用のサポートをしておりますので、よろしく願いいたします。図書館を利用して不明な点や困ったことがありましたら、気軽にスタッフまでお声掛けくださいませ。

お知らせ …ご応募、お待ちしております!…

「ブックレビュー」を募集します
 一冊につき200字～300字程度で、好きな本について
 紹介してください。本のジャンルは問いません。
 気負わず、さらさらと書いた文章でも大丈夫です。

「好きな一行」を募集します
 自分の好きな本の一行と、なぜ好きなのか、
 一言コメントを添えて教えてください。
 コミックのセリフでも構いません。

応募方法・・・電子メールでご応募ください。タイトルを「ブックレビュー」または「この一行」として、
 本文に、紹介する本のタイトル・出版社・著者名のほか、名前・学籍番号・学科・学年・あればペンネームを
 明記し、梅だより編集担当 まで。6月末日締切。(応募の秘密は厳守いたします)

利用案内

貸出の種類		通常	長期休業	卒業研究	実習
貸出冊数	学生	7冊	10冊	5冊	7冊
	院生	20冊	20冊	—	
	地域	2冊	—		
貸出期間	学生	2週間	期間内	1ヶ月	1ヶ月
	院生	1ヶ月		—	
	地域	2週間	—		

長期休業期間についての貸出は、
 詳細が決定次第お知らせいたします。
 資料を延滞すると、ペナルティが
 課せられます。貸出停止となります
 ので、返却期限は厳守してください。

図書館開館カレンダー

5月							6月							7月						
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3	1	2	3	4	5	6	7			1	2	3	4	5
4	5	6	7	8	9	10	8	9	10	11	12	13	14	6	7	8	9	10	11	12
11	12	13	14	15	16	17	15	16	17	18	19	20	21	13	14	15	16	17	18	19
18	19	20	21	22	23	24	22	23	24	25	26	27	28	20	21	22	23	24	25	26
25	26	27	28	29	30	31	29	30						27	28	29	30	31		

通常開館 9:00~19:00 土曜開館 10:00~14:00 休館日

- ☞ 2Fブラウジングコーナー及びセミナールームは8:30より利用可能です。
- ☞ 毎週月・木曜日の礼拝時間中(10:30~11:10)は一時閉館となります。
- ☞ 臨時開館時間や臨時閉館についてはホームページや掲示板でお知らせいたします。
- ☞ お問い合わせ先 ☎022-381-3440 ✉library@shokei.ac.jp

図書館広報誌 梅だより 第51号 2014年5月発行(年5回発行予定)

尚絅学院大学図書館 SHOKEI GAKUIN UNIVERSITY

〒981-1295 宮城県名取市ゆりが丘4丁目10-1 URL: <http://libwww.shokei.ac.jp/>

TEL: 022-381-3440 FAX: 022-381-3441 MAIL: library@shokei.ac.jp